

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)													
ET45F005		授業システム論特論(Special Seminar on Design Approach for Learning and Instruction)					教育学													
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員														
選択	2	1	大学院教育学 研究科	前期		氏名 竹中真希子 E-mail tmakiko@oita-u.ac.jp 内線 7586														
授業の概要	教師には、「授業の計画・設計」「学習方略・学習過程」「教材・学習空間・ICT機器など」の物理的要因、「授業及び学習者への評価・フィードバック」「教室文化」といった学習を取り巻く諸要素を理解し、それらを統合的に運営できる資質・能力が要求される。 この授業では、授業のさまざまな要素である、カリキュラムの計画・設計、教材・学習空間・テクノロジーなどの物理的要因、学習戦略・教授方法などの学習モデル、そして、授業の実施・評価・調整などを学習環境デザインという視点から一つのシステムとして統合的に捉えることをめざす。																			
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	学習理論(人の学びの特徴)を理解し、授業デザインに結びつけることができるようになる。																			
目標2	授業構成力、実践的指導力を身につける。																			
目標3																				
目標4																				
目標5																				
目標6																				
目標7																				
目標8																				
目標9																				
目標10																				
授業の内容																				
1	イントロダクション																			
2	学習理論のパラダイムの変遷(1)行動主義・構成主義																			
3	学習理論のパラダイムの変遷(2)社会的構成主義・認知主義																			
4	人が学ぶということ																			
5	学習環境デザインのための理論(1)学習空間・学習形態																			
6	学習環境デザインのための理論(2)効果的なICT活用																			
7	学習環境デザインのための理論(3)フィードバック																			
8	学習環境デザインのための理論(4)学習評価																			
9	学習環境デザインのための理論(5)授業評価																			
10	研究事例に基づいた討議(1)デザイン実験アプローチ																			
11	研究事例に基づいた討議(2)シミュレーションを用いた学習過程																			
12	研究事例に基づいた討議(3)ゲームを用いた学習過程																			
13	研究事例に基づいた討議(4)CSCL(コンピュータによる協調学習支援)を用いた学習過程																			
14	研究事例に基づいた討議(5)学習共同体モデル																			
15	全体を通したまとめ																			
ラック ニ ン グ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	B.グループ演習、プレゼンテーション資料(レジュメ、スライド等)による提案と討議 D.知識の構造化(構造図の作成)	工 夫 そ の 他 の	教育場面での効果を明示したICT機器の利用																
時間外学修 の内容と時 間の目安	準備 学修	予習(15~20h)、プレゼンテーション資料の作成(5~10h)																		
	事後 学修	復習(5~10h)、ミニレポート(5~10h)																		
教科書	資料を配付する																			
参考書	その都度、指示する																			
成績 評 価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10								
	グループ演習や討議への積極的参加度	40%																		
	プレゼンテーション資料および提案	40%																		
	ミニレポート	20%																		
注意事項	特になし																			
備考	特になし																			
リンク																				
	URL																			